

日時：2021年3月18日(木)16時～18時 場所：Web会議のみ

出席者：web会議 藤井田、細羽、毛利、大林、前田、鈴木淳夫、窪田、紀ノ定、森口 (記)
(順不同・敬称略)

1. 前回議事録

全員了承

2. PHR ガイドラインに対する、PHR 協会のパブコメを解説。

PHR ガイドラインは、

<https://www.meti.go.jp/press/2020/02/20210219004/20210219004.html>

添付資料：PHR 協会が提出したパブコメ

3. 両立支援の検討結果

(1) 2月20日のPHR協会講演会の報告

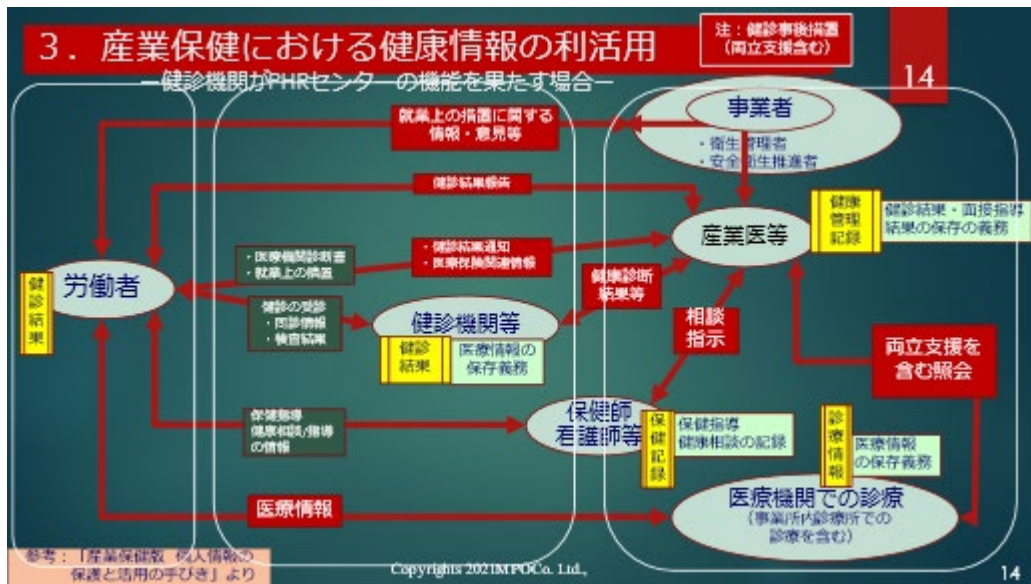
集客：162人、12人の学生(人間環境大・産業医大等)含む
これまでの最高参加者。約150人の有料の参加者を得たことになる。

(2) 森口の講演概要を解説。

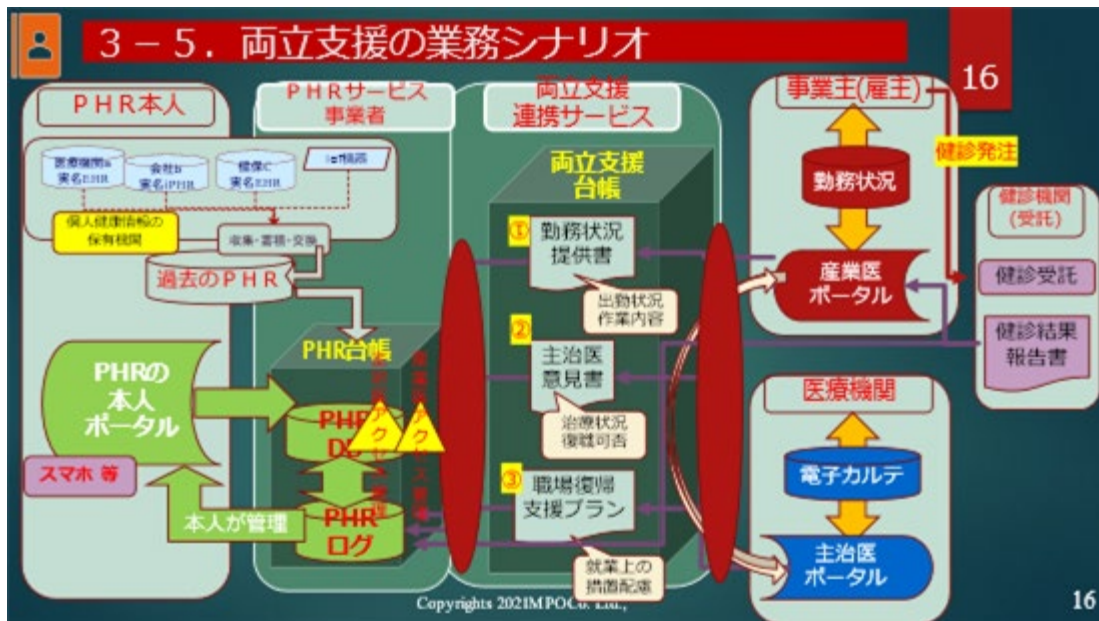
両立支援のICT化を検討した。

来期は、健診事後措置のPHR活用によるICT[化]の検討を行いたい。

正式には、理事会で決定する。



- ・PHR を活用した両立支援について、下記がその概要図であり、細羽は FHIR による活用試案を、森口が PHR をキーとした両立支援について、PHR 協会講演会で発表した内容を説明追加した。



4. Amazon の AWS—FHIR に関する窪田@Amazon の Q & A

a. {FHIR Works on AWとは}は Amazon のクラウド上で FHIR が使えるという意味？。

➡ その通り。

b. 「透明性のあるクライアント」「透明性のあるリポジトリ」とはどう言うことか？

➡ DB の中味は、「開発者にとって透明」。

c. ~~AWS は基本的に DynamoDB を使用すると考えてよい？~~

目的に応じて DB を選定するので、特定の DB を推奨することはない。

FHIR はドキュメントなので、DocumentDB の DynamoDB を採用している。

アーキテクチャの決定は用途から最適なものが選択される。

(ちなみに、FHIR は 1 4 1 ものリソースがある)

d. Amazon Healthlake では、HIPAA 対応のために、全体を暗号化できる。

参考：Architecting for HIPAA Security and Compliance on Amazon Web Service

P4：最下行 [Protecting data using encryption Amazon S3](#)

経路・保管 DB は暗号化が必要。

・次回は、4月15日(木) 16~18時

—以上—